

# 校長室だより

万人の福祉のために  
真実と慈愛と献身を



日本福祉大学附属高校 2019年12月1日

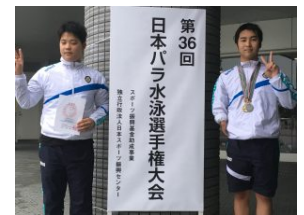
## 和太鼓部県大会優秀賞・・・来年の全国大会出場へ



11月23日、知立市文化会館において全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門の県大会が開催されました。本校は、「絆」～和太鼓組曲「海嶺」より～を力強く演奏しました。出場17校中、松蔭高校とともに優秀校に選ばれ、来年の全国大会（8/3～5）高知県須崎市）の出場を確定しました。和太鼓部の健闘をたたえます。保護者の方々も多数応援に駆けつけていただきました。ありがとうございました。

## パラ水泳選手権、1年岡島君1位、2年太田君も健闘！

11/23, 24 千葉で行われた日本パラ水泳選手権大会で、本校の2人が大活躍。1年岡島貫太君は100m自由形、200m個人メドレーで1位、50m自由型、100mバタフライでも2位、2年太田祐基君は100m平泳ぎ7位、100m自由形13位、50m自由形で15位と健闘しました。岡島君は来年3月の記録会で、結果次第では東京パラリンピック出場も可能になるとのこと。是非頑張ってください。（左；太田君、右；岡島君）



## 榊原君、私学弁論大会4位入賞！

榊原悠人君（3年）は、県私学弁論大会に本校代表として出場しました。演題は「一期一演」。主な内容は以下。体に障がいのある彼は、先輩たちが自然に役に入って演技している姿を見て、心を動かされ演劇部に入りたいと思います。しかし入部早々、「はたして僕にやれることがあるだろうか、動けない僕は荷物扱いされるのではないだろうか」と悩みます。しかし演出助手をしているうちに、演出を任せられるようになります。裏方会議、練習計画・配役決めとやる事が数多くあり、その上、「ダメ出しできない演出は演出じゃない」と、先輩たちから怒られます。精神的につらくなりながらも、毎日休まず部活に行き、発声練習など自分ができることをやったり、スマホで撮った画像を見せたりして、自分なりのやり方で演出を務めます。3年の夏の大会では、いろいろな困難を乗り越えて成功させることができ、大きな達成感を持つことができました。榊原君は「演劇部との出会いは一生の宝物です。これからも僕にしかできないことと出会って更なる一步を踏み出したい」と結びました。結果は見事4位入賞。大いに健闘を讃えたいと思います。

## 「対話・問いかけ・発見のある授業」～公開授業研究会を開催しました～



2年生の総合進学・グローバル英語コース対象に、「問いかけのある授業」「自分の考えを自己相対化できる他者との対話のある授業」を研究テーマとして、主体的な学習につなげる「問いづくり」にとりくみました。「子ども・保育・教育、社会問題、健康・医療、グローバル英語、スポーツなどの分野に分かれて、各自がテーマを用紙に書いて1分間で発表、それに対しグループの他のメンバーが質問を考え、付箋に記入し、ルールに基づき質問するというものです。教員もグループに入り、質問にとりくみました。「問いを立てる」ことの意義や大切さについて学ぶことができたと言えます。

## 「なぜ英語を学ぶのか」1年生に講義

1年生開講科目GFSでは、2学期から各教科の先生がバッテリーに立ち「〇〇を学ぶ意味」について講義を行っています。今回は英語科・高橋先生が「なぜ英語を学ぶのか」について講義を行いました。高橋先生は最初に、日本と英語のかかわりについて紹介し、英語が日本にどのように広まったかについて説明。そして現在、小学校で教科として実施されることや、海外進出している日本の企業の例を紹介し、「英語は話せて当たり前の時代がやってくる」「話せなければやっけない時代がくる」と、英語の必要性について話されました。英語学習にはずみがつくことを期待しています。



